

2018年度 高知県立大学がん看護インテンシブコースI 教育カリキュラム

	カリキュラムの内容	目的	時間	方法
1	オリエンテーション	研修の目的・目標を理解することができる	1	
2	高齢がん患者のQOL	高齢者の加齢に伴う身体的・心理的・社会的特徴の理解を基盤に、高齢がん患者にとってのQOLを理解し、望む場所での生活の実現に向けた援助ができる能力を身につける	2	講義
3	高齢がん患者と地域包括ケアシステム	高齢がん患者に対し、地域包括ケアシステムの構築と推進を担うチームの一員として、看護職としての役割を果たすことができる能力を身につける	3	講義
4	高齢がん患者の在宅療養移行支援	高齢がん患者の療養の場の特徴を理解し、在宅療養のために必要な社会資源の利用方法を考え、必要な援助を調整する能力を身につける	6	講義 演習
5	高齢がん患者の在宅生活におけるセルフケアとリハビリテーション	高齢がん患者の在宅生活におけるセルフケアと、セルフケア能力を維持するためのリハビリテーションの重要性を理解し、必要な援助が提供できる能力を身につける	4	講義 演習
6	高齢がん患者の治療 ①がん化学療法 ②がん放射線療法 ③がんの治療により生じる有害事象への看護(口腔ケア) ④ストーマおよびストーマ周囲の皮膚トラブルに対する看護	在宅での生活を基盤とした、高齢者に対するがん治療の特性を理解し、治療と生活を支えるために必要な援助を提供できる能力を身につける	8	講義 演習
7	高齢がん患者の在宅での症状マネジメント ①疼痛 ②倦怠感 ③嘔気・嘔吐 ④呼吸困難	高齢がん患者の在宅での症状マネジメントの重要性を理解し、必要な援助を提供できる能力を身につける	9	講義 演習
8	高齢がん患者とコミュニケーション	高齢がん患者とのコミュニケーションの特徴を理解し、対象の状況に応じたコミュニケーション能力を身につける	1.5	講義
9	高齢がん患者の認知とケア	高齢者の認知機能の変化について理解し、在宅治療・療養を行う高齢がん患者に必要な援助を提供できる能力を身につける	3.5	講義 演習
10	高齢がん患者の意思決定支援	高齢がん患者への意思決定支援の重要性を理解し、必要な援助を行うための能力を身につける	4.0	講義 演習
11	高齢がん患者の家族と家族ケア	高齢がん患者の家族の特徴を理解し、家族を援助の対象として必要な援助が提供できる能力を身につける	3.0	講義 演習
12	高齢がん患者の栄養	在宅治療・療養を行う高齢がん患者の栄養管理に必要な知識を身につける	2	講義
13	高齢がん患者の看護倫理	高齢がん患者の在宅治療・療養中に生じる倫理的な課題を理解し、看護職として倫理的に対応できる能力を身につける	3.5	講義 演習
14	高齢がん患者のエンド・オブ・ライフと在宅での看取り	高齢がん患者がその人らしい人生の最期を生き抜くことの意味を理解し、その人らしく過ごすために必要な援助を提供できる能力を身につける	5	講義 演習
15	見学実習 4日間(下記の中から選択:複数可) ①訪問看護ステーション ②在宅療養支援診療所 ③調剤薬局 ④がん診療連携拠点病院	在宅移行支援や在宅療養支援を必要とする高齢がん患者とその家族への関りの実際および、看護師の役割を理解することができる	32	実習
16	実習の振り返りを交えた事例検討と修了式	見学実習を振り返り、事例を通して学びを深めることができる	6	事例 検討